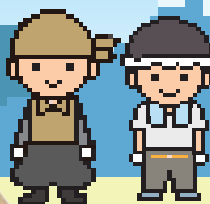


ハタラク

HATARAKU vol.17

これから就職を考える高校生のみなさんに働く素晴らしさを伝えるシリーズ企画。



働いて、楽しい!

PUSH START BUTTON

釧路の街で、ハタラク!

家をつくる、ビルをつくる、橋をつくる、道路をつくる。この街をつくるのは職人さんです。そんな建設・土木業界で働く若者たちにスポットを当て、働くことについてインタビューしました。

今回は丸成鈴木建業(株)の仲島 千恵さんです。



PROFILE

なかじま ちえ

仲島 千恵さん(36歳)/丸成鈴木建業(株)

阿寒高等学校を卒業後、平成10年に入社。型枠大工として5年働いた後、型枠大工の中でも基礎部分となる「墨だし」を任されることに。型枠と墨だしの両方を3年間兼業後、墨だし専門としてキャリアを10年間積み上げた。その間に型枠施工技能士1級や高所作業車運転技能講習などの各種資格も取得。



Q.01

建築の道に進んだキッカケは？
また仕事の魅力はなんですか？

キッカケは母が木造大工の手伝いをしていて、幼い頃から私も連れ立って現場へ行っていたことです。大工という仕事は私にとってとても身近で、就職を考えたときも真っ先に大工だと思いました。型枠大工はコンクリート造の建物に必要な、コンクリートを流すための枠を作り上げる仕事です。当時、漠然と大工を目指していた私でしたが、入社して18年目を迎えています。建築に関わる仕事全てに言えることかもしれませんが、全てを終えて完成したときはやはり達成感がありますね。

Q.02

女性として感じる大変さは？
建築業を目指す女性に一言!

力仕事というイメージが強い大工ですが、女性だということが特別な壁だと感じたことは一度もありません。特に会社で配慮してくれていたということが大きいですが、個人的にはまずはやってみることだと思っています。重いものは分けて運べばいいし、続けることで重さにも慣れてきます。今は墨だしのみなので、重いものを持つことはありません。私のようにモノづくりが好きで汚れるのが苦ではない女性であれば、続けていけるとおもいますね。

▶ My 装備品

トランシット

覗き込んだ先に、入力した角度や距離に合わせて線が表示される道具です。建設する土地の境界から建設位置を測るために使用。



まずは3日間、継続することが成功への第一歩!



インタビューの内容は、WEBサイトにてご覧いただけます!

職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会

釧路市鳥取南7丁目2-20 / Tel.0154-52-1150

釧路地域職業訓練センター内

WEBサイト <http://www.hatara946.com>

※釧路市受託事業 「職」の再発見事業

